

# ベトナム 旅行記

弁護士 田中 勇輝



ハイランズコーヒーにて

今年の4月、ベトナムはホーチミンに2泊3日で行ってきましてのでホーチミンの魅力についてお話ししたいと思います。

私は、いつも旅行先でゆったりするというよりは短期で行きますので、今回も1日目は夕方に到着後夕食、2日目は朝からメコン川クルーズのツアーに参加後夕食、3日目の朝帰国といういかにも弾丸ツアーでしたが、ホーチミンだけでも本来は3泊5日程度がおすすめらしいです。

ベトナムは、物価自体は日本の5分の1程度と言われており、確かにタクシーなんかはものすごく安いです。ただ、これは海外の観光地どこでもそうかもしれませんが、旅行者が行くような飲食店はやはりそれなりの値段設定がされており、日本で食べるよりは安かったねというくらいの金額です。

さて、1日目ですが、ベトナムと言えばということで、「エスエイチガーデン」というお店で生春巻きや空心菜の炒めを食べました。実はこれまで、生春巻きは冗談抜きにコンビニで買ったものしか食べたことがなかったのですが、やはり本場のものはおいしかったです。もちろんコンビニのものもおいしいですが、その後、最近ホーチミンで流行しているルーフトップバー、ビルの屋上にあるスタンディングバーに行きましたが、日本でいうクラブみたいところで、あまり行き慣れない私には少々敷居が高く20分ほどで失礼しました。



生春巻きと空心菜



そして、その日の夕食は、ベトナムフレンチを食べました。ベトナムは旧フランス領ですので、今でもフランス料理店は数多く存在することと、高級フレンチを本場より手軽な値段で食べられるということで人気のようです。私は、「ラ・ヴィラ」というお店に行きましたが、値段は、上でもお話ししたとおり、まあ日本よりは安かったなという感じでした。でも、ボリュームたっぷりでも味も間違いありません。

それ以外の食べ物として、ベトナム料理といえばフォーなのですが、弾丸すぎて専門店で食べることはできませんでした。ただ、ホテルの朝食でも当たり前のように出てきてそれを食べましたが、これもまたおいしかったです。それこそ私は人生で一度しかフォーを食べたことがなく、それがイマイチだったからこれまで食べてこなかったのですが、それを裏切るくらいおいしかったです。そんなにパクチーが利きすぎているという感じもなく、日本人の口にも合う味だと思います。そして、何よりおすすめしたいのは、ベトナムコーヒーです。淹れ方も日本とは少し違うようなのですが、私はまったく詳しくないので説明は割愛します。飲み方としては、コンデンスミルクを加えて飲むカフェスアダーという飲み方が一般的だそうですが、一見甘ったるそうなイメージを持つてしまうと思いますが、それがなかなかどうしてコーヒーにもものすごくコクがあり、そのコクとコンデンスミルクの甘さがマッチして本当においしく、わずかな期間の間に3軒もコーヒーショップに入ってしまった。普段コーヒーもあまり飲みませんが、初めてコーヒーのコクを理解できました。



ベトナムコーヒー



メコン川クルーズ

そして、2日目は、メコン川クルーズですが、写真で観たこともあったように、まさに泥の色の壮大な川で見応えがありました。手漕ぎボートを漕いでもらって、ジャングルクルーズというのでしょうか熱帯雨林の中を進むというツアーでしたが、豊かな自然を感じられました。



メコン川

さて、その後またホーチミン中心部に戻ってきて、市民劇場や人民委員会庁舎という歴史的な建造物の観光をしました。残念ながら、人民委員会庁舎の前には現在のホーチミン氏の像は現在修理中とのことで撮影はできませんでした。



人民委員会庁舎

もっぱら食事の話ばかりになってしまいましたが、ホーチミンはフランス領時代の面影と市場などのベトナムならではの文化とがうまく調和した街でありながら自然も感じることができる街でした。ただ、イメージどおりバイクの量が尋常ではありませんので、道を渡るときの緊張感は半端じゃありません、行った初日は本気で轢かれるかと思いました。それだけ気をつければ楽しい場所ですので、是非一度行って頂ければと思います。